

作文部門 最優秀作品

人権の大切さ

小中一貫三戸学園三戸中学校 九年

差ヶ久保 幸羽

私達、国民全員がもつ「人権」とは、すべての人々に与えられた永久の権利として、国家から保障されたものです。皆平等に与えられた人権は決して侵すことは許されず、日常の思いやりや気遣いの心で守らねばなりません。ですが、いじめや差別、虐待などで人権を侵す「人権侵害」が問題になっています。人権の侵害とは何なのか、また人権侵害にはどのような例があるのか、改善策は何かあるのかを、障害を持った人の人権侵害を中心に考えたいと思います。

よく耳にするとここでは、障害を持った人への人権障害といえ、差別的な言葉や暴力が思い浮かぶのではないのでしょうか。ミスや失敗をしたら頭や障害を持つ箇所を殴ったり、人格を否定したり、大声でどなりたり、などが挙げられると思います。これらの他にも、職場で賃金が払われなかったり、了承を得ずに現金が

引き出されていたり、日常生活でも、人にじろじろ見られたり、避けられたりなどもあるようです。

また、身体に障害を持った人が被害にあった事件も起こっています。この場では「大津身体障害者リンチ致死事件」という事件をもとに話を広げようと思います。大津身体障害者リンチ致死事件は当時十六歳だった、右脳に障害を持った少年を当時十五歳の少年A、十七歳の少年B、取り巻きの少年三人が過度な暴行の後に物陰に放置し、少年を死亡させた事件です。少年らは暴力の他に「障害者のくせに生意気だ」などの暴言を吐いたり、少年をバックドロップで頭からコンクリートに叩きつけたり、目覚めさせようとプールに放り込み水をかけるなどの暴行を行ったそうです。被害を受けた少年は病院に搬送され、開頭手術を受けましたが、助かる見込みは一パーセントもなく、一週間後に急性硬膜下出血で息を引き取りました。暴行を行った少年は犯行動機について「むかついたからやった。」と述べていました。以上が「大津身体障害者リンチ致死事件」の概要です。

障害を持った人の身にふりかかった事件について知り、どう思ったでしょうか。私は、この事件について知った際、なぜ同じ人間なのに、ここまでひどい仕打ちができるのか、甚だ疑問で仕方ありませんでした。なぜ障害を持つているから、という理由で差別が生まれるのか、不思議でいっぱいでした。

では、なぜ差別が生まれるのでしょうか。私は、普通の人と違うところがあるから、自分達よりもできることが少なく、劣っているから、自分達に害がある、と誤った解釈をされているから、などの理由があるのではないかと考えました。それでは差別をなくすにはどのような方法があるのでしょうか。私は自分達と差別を受けている人との壁をなくすことが大切だと思います。差別を受けている人たちも、私たちは、本来は何も違いません。たとえ、違うところがあつたとしても、それはその人の個性であり、伸ばすべきところなのです。差別をするでもなく、過剰に腫れ物をさわるように接するでもなく、友達のように仲よく互いに偏見も持たず共にいることが大切な

んだ、と私は思います。

これからの社会、色々な人が差別や不自由なく、生きていられることは大切だと思います。身近な人に差別や人権を侵されている人がいれば、私はすぐに助け、これからも差別的な考えをなくして、これからも生きていきたいです。将来、差別がなくなり、どんな人でも不自由なく生きていける社会になることを、私は願っています。

標語部門 最優秀作品

小学生の部

小中一貫三戸学園三戸小学校 四年

山田 和幸

いじめの種

まかない育てない

咲かせない

中学生の部

小中一貫三戸学園三戸中学校 九年

佐藤 利樹

もうやめよう

相手がいやがる

その会話